

特集

地域の力が 安全なまちをつくる



近年、犯罪の凶悪化や交通事故の多発などが叫ばれており、防犯・交通安全・防災対策の強化は、早急に解決すべき問題の一つに挙げられています。そこで、注目されているのが地域ボランティアによる取り組みです。今回は、町内での地域ボランティア団体の活動を紹介します。

地域安全女性 推進委員

昨年、幸田町では車上ねらいなどの窃盗事件が485件も発生しました。また、交通事故も多く発生しており、死亡事故が3件も発生しています。

そこで、交通安全・防犯・防災などについて町民の安全・安心意識を高めることや施策を積極的に行うこと、これらを女性の視点から行うということが、今年の5月10日に委嘱されたのが地域安全女性推進委員です。選任された22人の委員は、次のような活動をしていきます。



地域安全女性推進委員の
主な活動

- 1 交通安全、防犯、防災に関する要望や意見などの報告
- 2 安全・安心活動の活発化を図るための普及啓発
- 3 町が開催する安全対策関連会議・大会などに出席し、意見を述べる
- 4 町の安全政策に関する理解と協力を深め、地域でその輪を広げる

女性消防クラブ

昨年、幸田町では合計23件の火災が発生し、内訳は、建物10件、林野3件、車両2件、そのほか8件でした。

そこで、防火に関する知識の向上に努めるとともに、地域における防火思想の普及高揚を図ることを目的として、女性消防クラブが今年の5月14日に発足しました。今年選任された23人のクラブ員は、次のような活動をしていきます。

女性消防クラブの主な活動

- 1 普通救命講習や初期消火などの学習や訓練
- 2 視察研修
- 3 消防出初め式への出席
- 4 一人暮らしの老人を訪問する



委員のかたにインタビュー～



今年度、地域安全女性推進委員と女性消防クラブの両方を務める

おおかわ ちえこ
大川 千恵子さん

女性のネットワークができたことをとてもうれしく思います。個人ではなく、組織として目立つ団体として活動できたらいいと思います。もちろん自分の区のみでなく、町全体がよくなってほしいですね。

地域安全女性推進委員と女性消防クラブどちらも今年がスタートの年です。まだまだ分からないことだらけのスタートだと思うので、他の市町村との交流を深め、良かった取り組みについては同じことをやってもいいのではないかと思います。

安全で安心な住みよい地域社会の実現のため、防災・防犯の推進に力を入れていきたいと思います。そのためには防災・防犯に対する関心を高めるとともに、安全対策を強化するべきだと思います。

地域安全女性推進委員も女性消防クラブも今年1年で研修や訓練、会議などいろいろなことを行い、学ぶこととなります。普通救命講習で心肺蘇生法を学んだら、もしそれが必要な場面に出くわした場合は想定して、常にできるように復習をしておこうと思います。つまり、「できることをできる人ができるときにできるようにする」こと。簡単なようで難しいことだとは思いますが、このことを常に心がけていければいいと思います。

幸田町消防団

実際に火災が発生すると、消防署員のみでは消火しきれない大きな火事となってしまうことがあります。そんな場合に活躍するのが幸田町消防団です。

幸田町消防団は、現在4つの分団で構成されており、147人の団員が本業を持ちながら防災活動に励んでいます。



幸田町消防団の主な活動

- 1 防災活動
- 2 消防出初め式
- 3 観閲式
- 4 競練会
- 5 防災訓練
- 6 年末夜警

幸田町消防団競練会が行われました



6月11日(日) 町内の消防団4分団が集まり、競練会を防災ひろばで行いました。

日ごろの訓練の成果を競うこの大会は、優勝を目指して激しい戦いが行われ、どの操法も大熱戦でした。結果は次のとおりです。(どの操法も2位まで)

総合

優勝 第4分団 準優勝 第3分団

ポンプ車実戦操法

優勝 第4分団 準優勝 第2分団

小型ポンプ実戦操法

優勝 第3分団 準優勝 第4分団

階梯操法

優勝 第4分団 準優勝 第3分団

合同実戦操法

優勝 第4分団 準優勝 第1分団



総合優勝の第4分団



小型ポンプ実戦操法



階梯操法

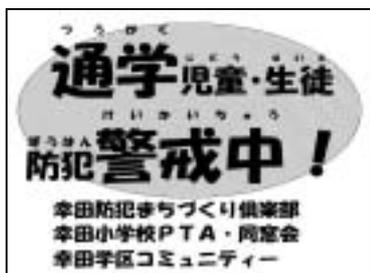
幸田防犯 まちづくり倶楽部

昨年、幸田町では子どもを狙った犯罪が59件も発生しました。

そんな弱者を狙った犯罪を少しでも減らそうと、平成16年4月に幸田防犯まちづくり倶楽部が発足し、現在87人で活動しています。毎年幸田学区を中心にさまざまな活動に取り組みしており、昨年度は次の2つの活動を行いました。

1 防犯プレート掲示活動

防犯プレートは、縦20センチ、横22センチのプラスチックの板に、通学児童・生徒防犯警戒中！と書いたものを、子どもたちの登下校の時間帯（登校時は午前7時～8時、下校時は午後2時～6時）に合わせて、通学路沿いの民家やお店に掲げました。



防犯プレート

これにより、登下校時の防犯効果はもろろん、プレートを出し入れするときに子どもたちと近所の人たちがあいさつを交わすことで、地域ぐるみでの防犯意識を高めることに役立っています。

2 青色回転灯付き自動車でのパトロール



子どもたちの下校時のパトロール1週間に1回、小中学校の児童や生徒、先生と一緒に青色回転灯を付けた車で通学路とその周辺、スーパーの店内などのパトロールを行いました。

夜のパトロール
青色回転灯を付けた車で、夜間のパトロールを行いました。パトロールは毎週金曜日の午後8時から9時までと、午後10時から11時までの2回で、午後8時からの場合は近所の子どもたちも一緒にパトロールを行いました。



幸田 防災ボランティア

防災活動や災害時にボランティア活動を行うことを目的として、平成14年8月に発足したのが防災ボランティア幸田です。現在は、31人で活動しています。

防災ボランティア幸田の 主な活動

- 1 防災活動や災害時の支援活動
- 2 防災ボランティアとしての知識と技術向上のための学習会
- 3 視察研修
- 4 防災訓練への参加
- 5 幸田町ボランティアまつりへの参加

